備陽史探訪の会

9月・10月・11月の行事日程一覧

9月3日（土）【ぶら探訪 42】（要申込）
「城北の寺社を巡る」

9月17日（土）【特別歴史講演会】
「宮内庁書陵部蔵　九条本「備後国宮家系図」について」

9月24日（土）【分布調査】（要申込）
「中世石造物調査 35（新市町）」

9月25日（日）【バス例会】（申込締めきりました）
「江田島の海軍史跡をめぐる」

10月1日（土）【ぶら探訪 43】（要申込）
「鞆鉄道跡と旧芦田川跡を歩く」

10月16日（日）【バス例会】（要申込）
「アキの国　塩と古墳と国分寺」

10月22日（土）【分布調査】（要申込）
「中世石造物調査 36（瀬戸町）」

10月30日（日）【測量調査】（要申込）
「山手銀山城測量調査 13」

11月5日（土）【ぶら探訪 44】（要申込）
「駅家町大橋を歩く」

11月13日（日）【バス例会】（予告）
「播州赤穂方面」

9月10日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
9月24日（土）【古代史部会】「古墳講座」
9月30日（金）【古文書講座】「古文書入門」
10月8日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
10月15日（土）【中世史部会】「中世を読む」
10月22日（土）【古代史部会】「古墳講座」
10月28日（金）【古文書講座】「古文書入門」

※9月の「古文書入門」第5金曜日です。
※10月の「近世福山を読む」の場所は市民交流館。
両日共、間違えないようにご注意ください。

事務局便り

お待たせしました！山手銀山城跡の測量調査がいよいよ10月から再開されます！参加希望の方はしっかりスケジュールあけておいてくださいね☆一般の方も、測量調査が初めての方も、参加できます。山城に興味のある方はお気軽にご参加ください。

2016（平成28）
行事案内
9月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
（会則第1章第2条より）

行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。
◎公式サイトの参加申込フォーム
「http : bingo-history.net」
◎事務局へメール
[info@bingo-history.net]
◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net

9月3日(土)　ぶら探訪 42

要申込

城北の寺社を巡る

城北の寺社は大規模なものが多く、空襲からも逃れ、木造で往時の姿をよく留めています。勝成の正室や側室（二代勝俊の母）、そして勝俊や殉死した近臣ならびに城代家老上田玄蕃などの墓石を訪ねます。

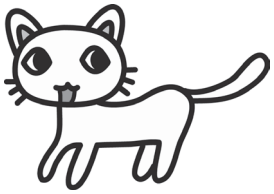
【集　合】 午前９時
胡町吉津橋南詰惣門跡
（胡町７－１１あたり）

【参加費】 100円（会員）　300円（一般）

【講　師】 根岸　尚克（近世史部会幹事）

【主な見学地】
胎蔵寺、渡辺神社、妙政寺墓地、木之庄墓地、観音寺、艮神社、福山八幡宮、聡敏神社、定福寺、松林寺

【その他】
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は 12 時頃、長者町口にて
（集合場所と解散場所が離れていますので、ご注意ください）



9月17日(土)　特別歴史講演会

県立歴史博物館共催

宮内庁書陵部蔵
九条本「備後国宮家系図」について

幻の名族「宮氏」の素性が明らかに！？
その真偽は！？？
郷土史に今、新しい光が射す。

講師　田口　義之　氏
（備陽史探訪の会　会長）

備後宮氏は、室町時代「備後殿」と呼ばれ、全盛を極めながらも、戦国時代、毛利氏と戦って敗北、滅亡したため、家伝の文書記録を失い、幻の名族として、その真の姿は杳として知れない。今回、宮内庁書陵部に16世紀に作成されたと推定される系図が所蔵されていることが判明し、会長がその内容を検討する。
さて、その真否の程は……。
備後戦国史に関心のある方、必聴の講演である。

【時　間】 午後２時～３時半
【場　所】 県立ふくやま草戸千軒ミュージアム地下講堂
（広島県立歴史博物館・福山市西町）
【参加費】 無料
※申込不要。直接会場で受付します。
先着 300 名

9月24日(土)　分布調査

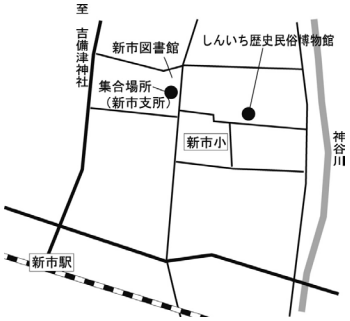
中世石造物調査35

第三十五回目は、新市町を調査します。
事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集　合】 午後1時30分
新市支所　駐車場
（新市町大字新市1061番地1）

要申込

【その他】
※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。
※ 10月22日（土）は瀬戸町町で実施する予定です。



9月25日(日)　バス例会

江田島の海軍史跡をめぐる

時間厳守

当日は船便の関係で遅滞は厳禁です。必ず集合時間までにバス乗り場へ待機しておいてください。また、予定時間にかかわらず全員が集まった時点で出発します。よろしくお願いします。

申込〆切

【集　合】 午前7時15分
ＪＲ福山駅北口観光バス乗り場
【参加費】 5,000円（会員） 5,500円（一般）
（昼食付）
【講　師】 大場　和弘

【その他】
※昼食は旧海軍兵学校内のレストラン江田島にて「海軍カレーセット」を食べます。
※帰着は福山駅北口に午後7時半頃の予定。
※歩きやすい服装・靴で。飲み物持参。

田口義之の備後山城50選8

守護山名氏の拠点
八尾山城跡

◎山城としての評価B
◎登り易さB
◎分り易さB

所在地　府中市出口町
比高　約二八〇メートル
築城者　不詳（杉原氏か）

城の歴史　備後南部の中心的な拠点的山城。鎌倉時代、備後守護に補任された杉原光平が築き、以後、杉原氏惣領家が歴代居城したと伝わるが、確かな証拠は残っていない。城の歴史が明らかになるのは、室町時代の初めで、永享九年（一四三七）守護山名氏の一族が「国府城」に拠ったことが記録に見え、此の城のことと推定される。以後、守護山名氏の拠点として使用され、応仁の乱では、備後守護代宮田教言が居城し、乱後の処理に当たっている。最後の城主と伝わるのは山名宮内少輔理興で、城を神辺黄葉山に移し、廃城となった。

見どころ　備後国府の置かれた府中市街地の北に聳える八尾山に築かれた山城で。城名の通り、山頂から放射状に伸びた支尾根を巧に利用した縄張となっている。

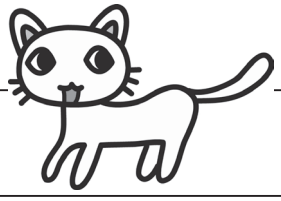
守護山名氏の拠点とされるが、山頂主曲輪からは南に木梨杉原氏の居城鷲尾山城を見通すことが出来、縄張も杉原一族の山城（鷲尾山城、銀山城）と類似した縄張、構造を持っていて、杉原氏の築城とする伝承も捨てがたい。

山頂の南に妙見社が存在し、府中市民からは「妙見山」として親しまれている山城で、北に一段高く旗立山城が存在し、背後の守りを固めている。

府中市街から望む八尾山城址

備陽史探訪の会

10月1日(土)　ぶら探訪 43



要申込

鞆鉄道跡と旧芦田川跡を歩く

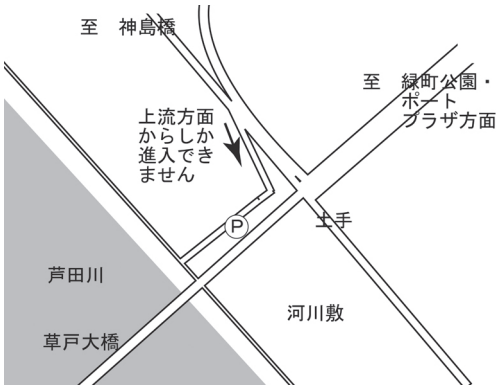
古くから生活の営まれていた草戸微高地と、その周りを巡っていた旧芦田川本流、その堤に沿って歩きます。当時の地形に興味のある方、高低差、段差に興味のある方は是非ご参加ください。

【集　合】 午前９時
芦田川草戸大橋東詰め、河川敷（駐車場）
（福山駅 8:40 発鞆行き　草戸バス停 8:46 分着
（草戸大橋バス停は草戸大橋西詰めになりますのでご注意ください））

【参加費】 100 円（会員）　300 円（一般）

【講　師】 瀬良　泰三（近世近代史部会幹事）

【主な見学地】
鞆鉄道線路跡　当時のカーブがそのまま残っている。
旧芦田川跡　当時の河川敷跡、中州跡、草戸微高地との高低差がわかります。
青木が端跡　明王院の有った場所。現在は河川敷ですが、当時の地形が想像できます。
旧芦田川左岸跡　唯一残っている堤跡ですが、その先の当初堤が有ったと思われるところを通り、通安寺まで歩きます。
青龍が淵跡　現在何も痕跡は残っていませんが、立ち寄ります。



【その他】
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は 11 時 30 分ごろ　通安寺前公園（「大進」の南側・国道沿い）で。
（集合場所と解散場所が離れていますのでご注意ください）全行程 4.3km
※進行状況により青木が端跡（神島橋東詰め）で終了とする場合もあります。
その場合 3.2km の行程となります。

10月30日(日)　測量調査

山手銀山城測量調査 13

山手銀山城の測量調査が再開します。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です！

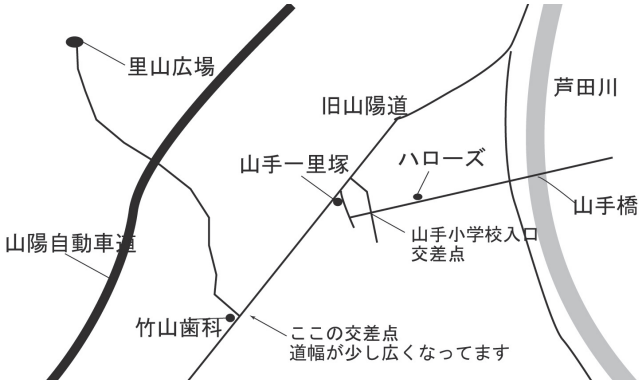
いよいよ 10 月から再開します！

要申込

【集　合】 午前９時
里山広場（弘法の水の南側）

【その他】
※午後４時頃解散予定。
※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。
※雨天の場合は中止します。

今回からは平板測量を用いた縄張図の作成を行います。



10月16日(日)　**バス例会**　要申込

アキの国　塩と古墳と国分寺

「アキ（秋）の一日に、「アキ（安芸）」国の製「塩」遺跡、県下最大の「古墳」、そして歴史公園として整備された「国分寺」跡を見学していただきます。」

【集　合】　午前７時
　　ＪＲ福山駅北口観光バス乗り場
【参加費】　4,000円（会員）　4,500円（一般）
　　（藻塩づくり体験代金 1000円を含む）
【募集数】　45名
【講　師】　湯川　勝彦（古代史部会幹事）
【その他】
※帰着は福山駅北口に午後６時頃の予定。
※飲み物・弁当持参。
※歩きやすい服装・靴で参加。

【主な見学地】

①**かまがり古代製塩遺跡復元展示跡**（呉市蒲刈町・上蒲刈島）
古代土器製塩遺跡を発掘したままの状態で見学できるように復元した展示館です。隣の「藻塩作り体験施設」で当時の製法で塩づくりを体験していただく予定です。

②　**三ッ城古墳**（東広島市）
２００９年に広島大学の古瀬教授（当時）がその築造を西暦４１２年ごろと発表されました。そのあたりを中心に説明させていただきたいと思います。

③　**安芸国分寺跡**（東広島市）
以前は塔跡くらいしか見学できませんでしたが、２０１２年に歴史公園として整備され、全体像が明らかになりました。

びんご歴史クイズ 19

①　三角縁神獣鏡が出土したことで有名な古墳は？
イ）二子塚古墳　ロ）大迫古墳　ハ）イコーカ山古墳　ニ）潮崎山古墳

②　鎌倉時代備後守護職を務めた長井氏の出自は？
イ）大江氏　ロ）藤原氏
ハ）平氏　ニ）源氏

③　江戸時代「備後」を支配した大名でないのは？
イ）水野氏　ロ）奥平氏
ハ）池田氏　ニ）浅野氏

④　昭和３０年代、現在の福山市の東部に存在した地方自治体（町）は？
イ）深津町　ロ）引野町
ハ）大門町　ニ）深安町

⑤　海軍兵学校の生徒が記帳した「津久茂帳」が寺宝として残る寺は？
イ）賢忠寺　ロ）明王院
ハ）品覚寺　ニ）安国寺

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！６枚綴りになっており、しかも、会員･一般共通という太っ腹企画！
（但し、換金、転売はご容赦を！）
全問正解者が多い場合は抽選とさせていただく場合もあります。あらかじめご了承ください。
○応募申込は
　事務局宛てにハガキで応募、もしくは
　インターネットの公式サイトの応募フォームから
　※電話での受付はありません。
○応募締め切りは
　9月20日（火）まで

備後歴史研究会新聞

第９号

瀬良泰三さんが「人」に取上げられました！

会員の瀬良泰三さん（近世近代史部会）が『備陽史研究第24集』の掲載論文によって、毎日新聞の「人」欄に取上げられました。

いつもは寡黙な瀬良さんの意外（？）な一面も！え？まさかの古代史好き？

原寸大で載せればよかったのですが、なんせスペースがデカくて…。80％の大きさで掲載です。見難かった人ごめんなさいです。

瀬良さんには、今後ますますのご活躍を期待しております。

なんせ全く新しい分野へのチャレンジ、苦難も多いと思いますが、今後の郷土史の発展に大きく寄与するのではないでしょうか。

頑張れ！瀬良さん！

2016年（平成28年）8月2日（火曜日）毎日新聞　広島版　の瀬良さんの掲載記事です。

ひと　人　ひろしま

「備陽史探訪の会」部会幹事

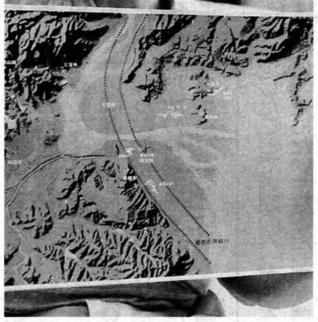
瀬良　泰三さん(65)

＝福山市

城下町以前の福山の地形研究

備後地方の郷土史家らで作る「備陽史探訪の会」（福山市）の近世近代史部会の幹事を務める。会員の研究論文などを集めた冊子「備陽史研究第24集」（5月発行）の中で、現在の福山市中心部が福山城の城下町となる以前の地形や様子などについて研究した論文を発表した。

瀬良さんの研究によると、城下町ができる以前の16世紀後半ごろの芦田川は、現在の同市山手町辺りが大きな遊水池になっており、川の流れはそこから大きく東に曲がる、現在とは全く違った姿だったと推測。水害防止や城下町の防衛のために行われた芦田川の改修工事など、城下町が築かれていく過程についても触れられている。



福山市出身の瀬良さんは、広島大卒業後、日本鋼管（現・JFEスチール）に就職。エンジニアとして、同社の福山地区などで定年まで勤め上げた。子どものころから歴史好きで、歴史に関する本を好んで読んでいたという。「好きな時代は古代。資料もそんなに多くないので、解明したくなる謎がたくさんあるから」

備陽史探訪の会に入ったきっかけは、会員だった母が持っていた同会の会誌。会員それぞれがテーマを持ち、郷土史を研究する同会の活動に興味を持った。20年ほど前に入会。仕事も忙しく、なかなか本腰を入れて活動に参加できなかったが、定年後は研究に没頭できる時間ができた。

城下町が築かれる以前の福山市中心部の研究は2013年ごろから始めた。国土地理院が出している航空写真や標高図などを詳しく分析し、時には気になる場所に赴くなどして、データを集めた。コンピューターソフトを使って想像図を作り上げ、論文にまとめた。当時の地形に関する詳しい文献はなく、研究は苦心の連続だったが「謎が多いほど、探究心に火がつきます。当時の様子について議論が巻き起こり、福山の歴史に興味を持ってくれる人が増えてもらいたい」と話している。【目野創】

今！草戸が熱い！明王院も熱い！

探訪の会が8月21日リレー講演会を開催した当日、明王院では、な、なんと！コスプレ撮影会があったとか？

明王院でコスプレ……。賛否両論あろうかとは思いますが、広島はコスプレ先進国…？福山も負けちゃいられません。

そんなことはさておいて、本当に最近の明王院は熱いです。

思いおこせば国宝をふたつも抱えながら福山市民でさえ存在を知らぬ人もいた明王院。福山駅から鞆まで、素通りされてしまっていた明王院。かつての花火大会でもやたら草戸稲荷ばかり注目されていた明王院。

しかし！数年前からの活動めざましく、定期的な書院の見学会や毎月行われる様々なイベント。田口会長の徳川家光の位牌に関する講演会を聴講された会員さんもいらっしゃるのでは？

さらに最近では前の樹木を切り開き、土手道から本堂と五重塔がよく

11 月 5 日(土)　ぶら探訪 44

要申込

駅家町大橋を歩く

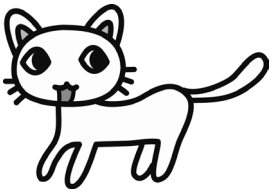
【集　合】 午前９時
大橋会館
（ 駅家町大橋 328-1）

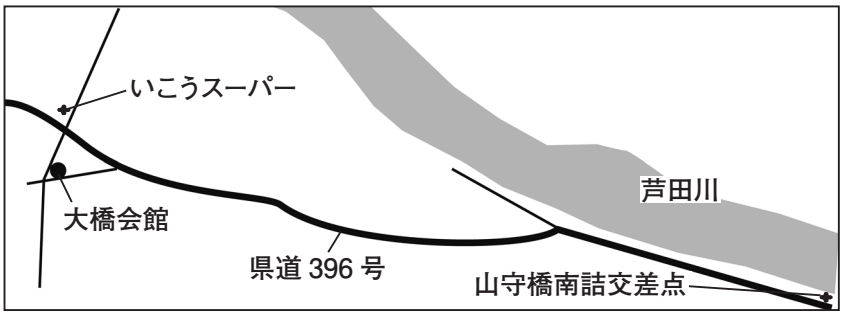
【参加費】 100 円（会員）　300 円（一般）

【講　師】 山岡　佑佳（中世史部会幹事）

【その他】
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は 12 時頃、大橋会館にて

今回は利用可能なバスの便はありません。最寄駅は福塩線近田駅ですが、徒歩で 30 分ほどかかります。今回は集合場所に自力で９時に集合できる方のみの参加となります。ご了承ください。なお、車は大橋会館の駐車場が利用可能です。
土手道から道なりに左へ曲がり、1.4ｋｍほど進むと右手に「いこうスーパー」があります。そこを左折するとすぐです。





見えるようになりました。

福山ができるよりずっと前からあった建造物です。もっともっと親しみと誇りをもって、見知ってほしいと思います。

さて、今回ご紹介するのは、毎月行っている定期イベントのひとつですが、今回は、「明王院を愛する会」と「草戸千軒ビレッジ」の共催行事ということです。

草戸千軒ビレッジとは？草戸千軒町発掘地帯を中心に国宝明王院、草戸稲荷神社、日光寺、法音寺にわたる地域を「草戸千軒ビレッジ」と名付け、歴史の中にこの地域を残していくことを目的に各種活動を行う組織なのです。なので、今回の講演は明王院と草戸稲荷です。講師は備陽史探訪の会の田口義之会長です。当日は書院・庫裡の見学もできます。護摩堂からの五重塔は意外にビューポイント♪雨の日は特におススメ。

情報ＢＯＸ

「明王院を愛する会」「草戸千軒ビレッジ」共催
郷土歴史講演
「明王院と草戸稲荷神社」

期間：平成 28 年１０月１５日（土）
午後１時３０分～午後３時００分

場所：明王院（草戸町 1473）庫裡内
明王院書院・庫裡などの一般公開
（午前１０時～午後４時）に合わせての
郷土歴史講演です

入館料：書院・庫裡の入場料 500 円
（講演は無料）
但し、先着 70 名様

演　題
国宝明王院と草戸稲荷神社の
つながりについて
講師　備陽史探訪の会会長　田口義之さん

問合先　090-8600-6830　三谷

備陽史探訪の会

お知らせ＆お願い

備陽史探訪の会の各部会の講座について、各講座につき４月より資料代として 100 円を戴くことになりました。よろしくご了承・ご協力ください。

古代史部会

「古墳講座」（第 372 回）

◆９月 24 日（第４土）午後7時～
◆福山市民参画センター
◆講師　網本善光（部会長）
【内容】「指定文化財が語る備後の歴史（６）巨石墳の時代」

◆10 月 22 日（第４土）午後7時～
◆福山市民参画センター
◆講師　網本善光（部会長）
【内容】「指定文化財が語る備後の歴史（7）終末期古墳の時代」

中世史部会

「中世を読む」（第 344 回）

※９月はお休みします。

◆10 月 15 日（第3土）午後2時～
◆福山市民参画センター
◆講師　篠原芳秀（副会長）
【内容】「（未定）」

近世・近代史部会

「近世福山を読む」（第 43 回）

◆９月10 日（第2土）午前９時 45 分～
◆福山市民参画センター
◆講師　高木康彦（部会長）
◆内容
「水野家臣団―御家老 上田氏・中山氏―」

◆10 月８日（第2土）午前９時 45 分～
◆市民交流館（←注意）
※文学館東隣の駐車場を開放しております。（無料）
《第１部》
◆講師　岡田宏一郎（部会幹事）
◆内容
「松永の郷土誌の先駆者　村田露月」
露月は松永町史を編纂するなど松永の郷土史の研究者として欠かせない功績を遺した。
《第２部》
◆講師　高木康彦（部会長）
◆内容
「水野家臣団―総奉行　小場兵左衛門と神谷治部―」
水野勝重が二代藩主となってのち、相前後して総奉行となった両人はやがて福山大干拓時代を指導することになる。

古文書講座
「古文書入門」

初回のみ
要申込

◆９月 30 日（第５金）午後７時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

◆10 月 28 日（第４金）午後7時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

※９月は代５金曜日です。
※テキスト代別途必要です。

備陽史探訪の会

【事務局】
〒720-0824　広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX　084-953-6157
E-mail　info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net

会報 192 号原稿募集！

10 月発行の会報 192 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。９月 16 日(金) までに事務局編集部まで。規定は 16 文字× 120 行。（論文・論考は 16 文字× 244 行程度）